

◇『奈良史学』第二十八号をお届けします。

本年は日本史、東洋史、西洋史がそろい踏みで、日本史では四本の論文を掲載できました。ご味読のほどを。

◇巻頭論文ご執筆の佐々木克先生は本年度いっぱいまで本学を退職されますが、わかりやすい短文をつないで、複雑な明治初期の外交と内政の交錯した問題に明確な展望を与えています。日本とその周辺海域の情勢に再び一抹の不安が広がるかに思われる今日この頃、感慨深いものがあります。次年度に鎌田先生と併せご退職記念号刊行の予定です。

◇安田論文と西村論文は本学非常勤講師によるもの。森島論文は社会人生活の後、本学大学院で執筆された修士論文をベースとしたもの。それぞれ研究手法は違っても、対象に向かう真摯な姿勢は共通です。

◇本本論文は京都女子大学院生、岩田論文は本学卒業生によるもの。いずれも精密な史料検証を基礎としながらも、全体的な視野も忘れない、若い感性に溢れた好論文です。

◇情報開示は必要だが、何かあることに一つの方向に流れ

てしまうマスコミを見ると暗澹と一昨年の本誌編集後記はそのまま今年も使えそうです。しかも、今年は何やらきな臭い雰囲気すら漂い始めています。

◇このような時こそ長い時間軸をたどって歴史を振り返り、また東京や北京発の「大きな歴史」だけでなく、各地域発の「小さな歴史」の視点を複眼として持つことが大事なのかもしれません。良い年になりますように！

(広)

奈良史学 第二十八号

二〇二一年一月三十一日発行

発行者 奈良大学史学会

会長 河内 将 芳

奈良市山陵町一五〇〇奈良大学文学部内
千六三一―八五〇二
TEL.〇七四二―四四一―二二五一(代)
振替 〇〇九九〇―二―一三二五九九九

印刷所 共同精版印刷株式会社

奈良市三条大路二丁目二一六
千六三〇―一八〇―一三

NARA JOURNAL OF HISTORY

NARA SHIGAKU

No. 28

2010

CONTENTS

Articles

Okubo-Toshimichi and the Political Change
in 1873 (Meiji 6th)
..... Suguru SASAKI (1)

A Historical Survey on the Guide of Yamato Sightseeing
in the Early Modern Times
..... Makiko YASUDA (38)

The Relationship between the Chinese
and the Native Taiwanese
in Hozan-Prefecture under the Chin Dynasty
..... Masaharu MORISHIMA (69)

The Consciousness of the Weight of Crimes
in the Decrees of Ancient Egypt
..... Yoko NISHIMURA (91)

Fujiwara-no-Yorimichi and his Followers
..... Hisako KIMOTO (115)

The Irrigation Policy of Ritsuryo-State
..... Nobuyo IWATA (137)

Department's News

Edited and Published

by

THE NARA DAIGAKU SHIGAKUKAI